

科目名 Course Name	ピアノ演奏法Ⅱ Piano performance method II				ナンバリング No.	K2-012	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	岡泉志のぶ、川田将人、中沢充恵、山田飛鳥、川島麻祐未						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>保育の現場で活躍するためには、保育者としての基本的なピアノ演奏技術がなくてはならない。この授業では、ピアノ演奏法Ⅰで習得した個々のピアノ技術の向上を目指し、特に保育の現場で多く歌われる日常のうたや季節のうた、行事のうたの伴奏法を学び、保育現場に活かせる伴奏の習得を図る。バイエル教則本を終了している学生は、ブルグミュラー25の練習曲以上の曲も併用してピアノ演奏技術の向上を目指す。</p> <p>この授業の到達目標は、以下の4つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ピアノの効果的な練習法を身に付け、バイエル教則本を終了することができるようにする。 ② 幼児曲を正確に伴奏することや歌唱することで音楽を表現することの楽しさを味わうことができるようにする。 ③ 実習先からの課題曲、または日常のうたや季節のうたを演奏することができるようにする。 ④ 保育現場での音楽技術の必要性を踏まえ、弾き歌いに必要な演奏技術と表現力を養うことができるようにする。 						
授業の方法	<p>演習(実技)形式で行う。ピアノ技術の習熟度別のクラス編成をし、対話を含めた個人レッスンで行う。少人数でのグループディスカッションも取り入れ、他者の演奏を聴く事でも習得を図る。個人レッスンは各学生の能力に応じた教材や進度を的確に判断し指導を行う。初心者クラスの学生(事前調査により判断、入れ替えあり)は個人レッスンに加えて楽典講座を受講する。また、教則本と並行して幼児曲に取り組み、保育現場で活用できる曲を、個々のレパートリーとして弾けるように指導する。以下には、標準的(ピアノ未経験者、初心者に適した)授業計画を示す。</p>						
学習成果	L01	ピアノ練習の習慣化が身に付くことで、ピアノを弾くことの楽しさや達成感を得ることができる。様々な幼児曲を伴奏する上で、子どもと一緒に楽しみながら音楽活動ができる。					
	L02	ピアノの基本である読譜力をつけることができる。基本的な伴奏法を用いた簡単な幼児曲の伴奏や他の楽曲を演奏することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	<p>個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。発表については、終了時と最終授業日に講評する。</p>						
教科書/ 参考図書	<p>教科書:改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、全訳バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)、ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社)、ソナチネアルバム(全音楽譜出版社)、他 C-Learning:ドリル、楽曲解説、解説動画(適宜使用)</p>						
履修上の留意点 やルール等	<p>●短い時間でも毎日ピアノに触れ、練習すること。●使用教室では飲食持ち込み禁止とする。 ●事前、事後学習に費やす時間の目安は45分とする。</p>						
担当教員の実務 経験	<p>●担当者(非常勤講師) 職種:ピアノ講師 職歴10年以上 学生個々の能力別による個人レッスンに、ピアノ指導の経験を活かす。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前事後学習として、毎回与えられた課題を練習し(毎日アンケートへの入力含む)、C-learningのドリル演習問題にも取り組んで授業に臨む。	20			
レポート/作品	教育実習(観察)の振り返り(10点) 発表曲の動画撮影・提出(10点)	20			
発表	複数担当教員の前で、課題曲1曲を演奏し、読譜力、曲の難易度と表現力で採点する。担当教員が採点した点数の平均点を評価(50点)。		50		

小テスト				
試験				
その他	課題曲や幼児曲の進度により評価する。		10	
合計		40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	授業内容、評価方法の説明、受講する際の注意 担当者別:次回の課題、「日常(生活)のうた」についての基礎知識
	事前・事後学習	各自課題と日常のうたについて復習する ドリル⑫ ト音記号・ヘ音記号・混合(適宜復習)
2	授業内容	教則本の習得(バイエル 90 番台) 幼児曲の習得(例:朝のうた、おべんとう、おかえりのうた、かたつむり)
	事前・事後学習	各自課題(バイエル 90 番台)と幼児曲に取り組む ドリル⑬
3	授業内容	教則本の習得(バイエル 90 番台) 幼児曲の習得(例:朝のうた、おべんとう、おかえりのうた、かたつむり)
	事前・事後学習	各自課題曲(バイエル 80 番台)に取り組む。「日常のうた」に出てくるリズムに注意して練習する。ドリル⑭
4	授業内容	教則本の習得(バイエル 80 番台) ニ長調 幼児曲の習得(例:朝のうた、おべんとう、おかえりのうた、ちょうちょう)
	事前・事後学習	バイエル 80 番台の調号や腕の交差に注意して練習する。ドリル⑮
5	授業内容	教則本の習得(バイエル 80 番台) 幼児曲の習得(例:朝のうた、おべんとう、おかえりのうた、ちょうちょう)
	事前・事後学習	幼児曲の伴奏では、声かけや歌もつけて練習する。
6	授業内容	幼児曲の習得(朝のうた、おべんとう、おかえりのうた)
	事前・事後学習	教育実習(観察)において注視するポイントを整理し、各自幼児曲の練習をする。
7	授業内容	教育実習(観察)の振り返り グループディスカッション
	事前・事後学習	各自振り返りを C-learning 上で入力する。課題曲(バイエル 80 番~100 番台)に取り組む。観察実習振り返りレポート
8	授業内容	教則本の習得(バイエル 80~100 番台) おねむり~おきよおきよ 幼児曲の習得(例:こもりうた、日常のうた)
	事前・事後学習	拍子や、左手の伴奏法に注意して、教育実習を想定した幼児曲の練習をする。
9	授業内容	教則本の習得(バイエル 80~100 番台) 幼児曲の習得(例:こもりうた、日常のうた、6月のうた)
	事前・事後学習	拍子や、左手の伴奏法に注意して、教育実習を想定した幼児曲の練習をする。
10	授業内容	教則本の習得(バイエル 100 番台、ブルグミュラー、幼児曲) 音楽性・表現力①
	事前・事後学習	曲の個性を捉え、音楽的に表現できるよう練習する。
11	授業内容	教則本の習得(バイエル 100 番台、ブルグミュラー、幼児曲) 音楽性・表現力②
	事前・事後学習	音楽的に表現し、課題曲を仕上げていく。
12	授業内容	実技発表の課題曲指導(バイエル 100 番台以上)① 楽譜の確認
	事前・事後学習	課題曲を正確に読譜し、練習する。発表課題:次回、発表曲の動画を提出する。
13	授業内容	実技発表の課題曲指導(バイエル 100 番台以上)② 音楽性と表現力
	事前・事後学習	課題曲の個性を捉え、強弱をつけ、音楽的に曲が完成するよう練習する。
14	授業内容	実技発表と講評
	事前・事後学習	発表楽曲の復習と新たな課題に取り組む。
15	授業内容	今後のピアノ技術向上のための計画立案とその指導
	事前・事後学習	次年度の実習に向けて課題曲と幼児曲の練習をする。